

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	46	事業名	児童発達支援センター事業	担当部課	子ども部子ども家庭課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち		決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—		会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款-項-目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	児童福祉法、ながふく障がい者プラン、長久手市児童発達支援センター条例、長久手市児童発達支援センター条例施行規則	3-2-1 児童福祉総務費	
	事業開始の背景、経緯等	児童発達支援センターを市町村に1つ設置する必要があることから、市の中核的な療育施設としての児童発達支援センターを整備した。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働不可	(両者と協働不可の場合はその理由) 市民・民間との協働の余地がない事業であるため。			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市の中核的な療育施設としての児童発達支援センターを上郷保育園、上郷児童館と一体的に整備した。障がいのある就学前児童に対し、独立自活に必要な知識技能の付与、集団生活への適応のための訓練などを行う「児童発達支援事業」と所属先への訪問を行う「保育所等訪問支援」を行う。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 児童及びその保護者、並びにその関係者 (利用には通所受給者証が必要なため、児童発達支援と保育所等訪問支援の受給者証数とする。4月1日時点)
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 就学前の障害児等の通所先の確保、保育所等訪問支援による所属先での支援を受けることができる。

項目	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	
			事業費(A)	千円	予算	-	-	-
			決算	-	-	-	21,567	
人件費(B)	千円	決算	-	-	-	7,910		
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	0	0	0	29,477		
事業対象の数(D) (R4年度は想定数)	人		-	-	-	81	144	
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		-	-	-	364		

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
			利用者数(児童発達支援と保育所等訪問支援の年度末での契約人数合計)	人	目標	-	-
			実績	-	-	-	65
(指標の設定根拠) 児童発達支援センターの利用者数(児童発達支援と保育所等訪問支援の合計)を指標とする。	(数値目標の根拠)						
(前年から指標を変更した場合はその理由)	今後事業周知が進むことから令和3年度実績から5%増加とする。						
(前年までの指標)	-						

目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 1日定員30人ではあるものの、申込者の状況の違いや、また、週に1回から5回通う児童がまちまちであることなどから、クラス編成で苦慮した。(児童発達支援) 市内公立保育園全園さらに市外幼稚園・保育園を訪問することができ事業周知も進んだ。(保育所等訪問支援) (活動のエピソード、コメント、特記事項など)
活動エピソード	指定管理で事業を行うことで、児童発達支援管理責任者など、児童福祉法で配置が義務づけられている専門職の確保や常勤雇用が可能となることや既に児童福祉事業に携わっている事業者が運営を担うこととなるため、これまでにその事業者が培ったノウハウの活用ができています。
改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 地域の中核となるセンターとして、他の事業所との更なる連携が必要

事業を構成する事務事業①	児童発達支援センター事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
			実績					
(2) 1日あたりの通所者数(3月まで累積実績)	人	見込	20	20	20	20	20	
			実績	13.5				
(3) 保育所等訪問事業の利用者数(月1回/人の利用)	人/月	見込	20	20	20	20	20	
			実績	12.6				
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> 令和3年10月1日からの開所に向け、指定管理者とともに県への事業申請、ルール作り、入所準備を行い、半年間の運営を行った。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業②	児童発達支援センター事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
			実績					
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込						
			実績					
(3)		見込						
			実績					
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	

事業を構成する事務事業③	児童発達支援センター事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
			実績					
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込						
			実績					
(3)		見込						
			実績					
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 令和3年度はスタートの年であり、運営はまだ半年で1年経過していないため、引き続き令和4年度も1年運営していく。民間事業者とも顔の見える関係を築きつつ、連携を進めていく。指定管理者での運営を活かし、保育園、学校等に療育を身近なものにしていく。
中長期の目標	(いづろまで事業をどのような状態にしたいか) 指定管理期間は4年半。センター機能として、通所先の確保が難しい医療的ケア児や重症心身障がい児等の通所先を確保できるよう、地域全体で民間事業者も交えた割振りができることが理想である。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見 ・第6次総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて事業を実施してください。 ・成果指標は、【事業意図】の成果が分かるアウトカム指標としてください。
内部意見への回答	